

『癒しのマフ』を寄贈頂きました！

住民の見守りや交流活動に取り組んでいる老人憩いの家『みんなの居場所』で朝日新聞の記事の特集で『認知症マフづくり』を知り、マフを20個程試作され市内の医療や介護の現場で必要とされる方に、寄贈したいとお話を頂きました。

市内の認知症サポート医の先生方の会議の際にご紹介したところ、同じ記事を読み、どなたかボランティアの方が作って下さると良いな…と思っていた先生が丁度いて、[鎌ケ谷市在宅医療・介護連携推進運営室](#)でお預かりして、お渡することになりました。

数に限りはありますが、必要な方におひとつずつお渡し下さいとの意向ですので、他の医療や介護現場でも必要な方がいたら、お声かけいただければと思います。

047-444-8928 佐々木 鎌ケ谷市総合福祉保健センター4階（鎌ケ谷市医師会内）

♡ マフとは？

- マフは筒状のカラフルにデザインされたニット製品、英国ではtwiddle muffと呼ばれています。
- 認知症の人の落ち着かない手を穏やかに温かく保ち、触覚や視覚という感覚を用いたケア実践に活用されています。英国オックスフォード大学病院の高齢者患者にも活用され、英国の一部地域の救急車に装備され、認知症の人の搬送時にもマフは活躍しています。

引用：浜松医科大学臨床看護学



参考  朝日新聞厚生文化事業団

認知症マフを作ろう！
製作Webサイト



憩いの家『みんなの居場所』



大きさとか付属物の位置とか！使ってみた感想をフィードバックして欲しいです！

材料は市の『憩いの家』事業の運営費の中から購入しています！

6~7人のメンバーで毎週顔合わせのを楽しみながら作っています！

喜んで下さる方がいることが、私たちの喜びに繋がります。是非感想を教えてください！

コロナ禍なので、ひとつずつ差し上げます！

100均の毛糸2個で丁度1つのマフが作れます！

2022.12.6